

## 平成20年9月期 第1四半期財務・業績の概況

平成20年2月6日

上場会社名 横浜冷凍株式会社 上場取引所 東証一部  
 コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>  
 代表表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 俊雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 島居 寛 TEL(045)326-1010

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年9月期第1四半期の連結業績 (平成19年10月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
20年9月期第1四半期	百万円 35,010 0.6	百万円 1,293 △14.7	百万円 1,330 △16.5	百万円 743 △25.0
19年9月期第1四半期	34,791 10.2	1,515 10.9	1,594 12.6	991 22.3
19年9月期	124,555 —	3,352 —	3,601 —	1,916 —

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
20年9月期第1四半期	円 14 銭 34	円 —
19年9月期第1四半期	19 81	19 10
19年9月期	37 51	36 93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
20年9月期第1四半期	百万円 81,901	百万円 55,716	% 67.6	円 銭 1,068 39
19年9月期第1四半期	78,238	54,079	69.0	1,075 25
19年9月期	77,485	55,610	71.3	1,066 09

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
20年9月期第1四半期	百万円 188	百万円 △1,701	百万円 2,024	百万円 1,802
19年9月期第1四半期	△3,324	△1,512	3,068	1,057
19年9月期	1,977	△7,282	3,735	1,294

2. 平成20年9月期の連結業績予想 (平成19年10月1日 ~ 平成20年9月30日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
中間期	百万円 64,730 2.1	百万円 2,280 △2.9	百万円 2,330 △6.3	百万円 1,255 △7.3	円 銭 24 20
通期	126,640 1.7	3,920 16.9	4,060 12.7	2,165 13.0	41 75

### 3. その他

- |   |     |
|---|-----|
| (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） | : 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無              | : 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無            | : 無 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

## (1) 平成 20 年 9 月期 第 1 四半期の概況

当第 1 四半期における日本経済は、企業収益の改善にやや足踏みがみられるものの、設備投資は増加し、景気は引き続き緩やかな上昇基調で推移いたしました。しかし一方では、原油価格の高騰をはじめとした原材料高や米国経済の減速懸念等の不安要素を抱え、先行き不透明感の強い状況が続いております。

食品関連業界におきましては、安全・安心に対する消費者の厳しい視線のなか、関連企業による表示問題等の不祥事が相次いだこともあり、低調な消費動向を回復させるに至らず、依然として難しい事業環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、平成 17 年 11 月に発表いたしました中期経営計画（3ヶ年）の事業方針に基づき、冷蔵倉庫、食品販売の両事業とも顧客の求める商品・サービスの提供や新たな需要の開拓など積極的な営業活動に取り組み、業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第 1 四半期の売上高は 35,010 百万円（前年同期比 0.6% 増）となりました。利益面では、減価償却費をはじめとした冷蔵倉庫事業における原価の増加等により営業利益は 1,293 百万円（前年同期比 14.7% 減）、経常利益は 1,330 百万円（前年同期比 16.5% 減）、第 1 四半期純利益は 743 百万円（前年同期比 25.0% 減）となりました。

## (2) セグメント別の概況

## ①冷蔵倉庫事業

当第 1 四半期末の国内冷蔵設備保管収容能力は、前期に新設いたしました横浜物流センターと加須第二物流センターが通年稼働となりましたことから、前年同期比 46 千トン増加の 668 千トンであります。

米国産牛肉の輸入は本格化せず、引き続き顧客の在庫圧縮と物流経費削減の要請も強いなど厳しい事業環境でしたが、新規顧客の開拓や冷蔵倉庫需要の掘り起こしなど、地域に密着した集荷活動に努めました。また、取り組み中であります貨物構成の見直しについても継続して実施いたしました結果、国内出入庫取扱数量は、前年同期に比べて 8.5% 増加の 587 千トンとなり、保管在庫量も 6.1% 増加いたしました。また、海外連結子会社でありますタイヨコレイ株式会社は、サムロン工場第 3 号倉庫 7 千トンの増設が完成し、冷蔵設備保管収容能力は、29 千トンとなりました。業績は堅調に推移し、前年同期比で増収となりましたが、減価償却費等の増加により、利益面は減益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の売上高は 5,180 百万円（前年同期比 6.8% 増）となりました。前期の第 2 四半期以降に新設いたしました物流センターの減価償却費負担等もありましたため、営業利益は 1,297 百万円（前年同期比 5.0% 減）となりました。

## ②食品販売事業

全般に販売環境の厳しい中、水産品では主力商材の一つである海老が前年同期比でやや低調な取り扱いとなりましたが、畜産品は、米国産牛肉の輸入が本格化に至らない状況から、依然として豚肉の売上が好調で、鶏肉も増収となりました。しかし、食品販売事業において当期の事業目標としております利益率の向上につきましては、一部の品目では改善いたしましたが、海老相場の低迷や豚肉の仕入価格上昇により、全般の数値は不十分な状況であり、引き続き今後の課題として残されました。

以上の結果、食品販売事業の売上高は 29,820 百万円（前年同期比 0.4% 減）となり、営業利益は 431 百万円（前年同期比 21.8% 減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債、純資産の状況

当第 1 四半期末における資産総額は 81,901 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 4,416 百万円の増加となりました。これは主に売掛債権の増加によるものであります。負債総額は 26,185 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 4,311 百万円の増加となりました。これは主に短期借入金と買掛債務の増加によるものであります。また、純資産につきましては、55,716 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 105 百万円の増加となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、前連結会計年度末に比べ 507 百万円増加の 1,802 百万円となりました。当第 1 四半期におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次の通りであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は 188 百万円であり、その主な内容は税金等調整前第 1 四半期純利益 1,295 百万円、減価償却費 722 百万円及び仕入債務の増加額 2,847 百万円などの資金増加と、売上債権の増加額 3,009 百万円、たな卸資産の増加額 753 百万円及び法人税等の支払額 632 百万円などの資金減少によるものであります。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は 1,701 百万円であります。その主な内容は新設物流センター建設をはじめとする有形固定資産の取得による支出 1,629 百万円などによるものであります。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は 2,024 百万円となりました。これは短期借入金の純増加額 2,500 百万円などの資金増加と、配当金の支払額 467 百万円などの資金減少によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現時点では、平成 19 年 11 月 15 日に公表いたしました予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

①たな卸資産の計上は、帳簿たな卸高によっております。

②税金費用の計上は、年間の見積実効税率に基づいております。

③その他影響額が僅少なものについては、一部簡便的な手続きによっております。

### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 要約連結財務諸表

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期末)	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成19年9月期
		金 額	金 額	金 額	増減率	
(資産の部)						
I 流動資産						
現金及び預金		1,084	1,896	812	74.9	1,476
受取手形及び売掛金		20,222	20,533	310	1.5	17,527
有価証券		-	19	19	-	19
たな卸資産		9,380	7,763	△ 1,617	△ 17.2	7,010
繰延税金資産		377	320	△ 57	△ 15.1	320
その他		481	545	63	13.2	540
貸倒引当金		△ 109	△ 94	15	-	△ 98
流動資産合計		31,436	30,984	△ 452	△ 1.4	26,796
II 固定資産						
有形固定資産						
建物及び構築物		18,343	21,712	3,369	18.4	21,969
機械装置及び運搬具		3,545	4,259	714	20.2	4,339
土地		15,772	16,293	520	3.3	16,301
建設仮勘定		1,870	1,365	△ 504	△ 27.0	707
その他		412	513	100	24.4	513
有形固定資産合計		39,944	44,145	4,200	10.5	43,831
無形固定資産		1,725	1,741	15	0.9	1,764
投資その他の資産						
投資有価証券		4,377	4,199	△ 177	△ 4.1	4,311
その他		889	995	105	11.9	919
貸倒引当金		△ 136	△ 165	△ 29	-	△ 137
投資その他の資産合計		5,131	5,030	△ 100	△ 2.0	5,093
固定資産合計		46,801	50,917	4,115	8.8	50,688
資産合計		78,238	81,901	3,662	4.7	77,485

## 要約連結財務諸表

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期末)	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成19年9月期
		金 額	金 額	金 額	増減率	
(負債の部)						
I 流動負債						
支払手形及び買掛金		15,097	14,716	△ 381	△ 2.5	11,869
1年以内に償還予定の転換社債		1,049	-	△ 1,049	-	-
短期借入金		3,500	7,000	3,500	100.0	4,500
未払法人税等		791	609	△ 181	△ 22.9	759
未払費用		1,090	1,164	73	6.8	1,026
その他		1,066	1,492	426	40.0	2,383
流動負債合計		22,594	24,982	2,388	10.6	20,538
II 固定負債						
繰延税金負債		659	419	△ 240	△ 36.4	503
退職給付引当金		636	493	△ 142	△ 22.4	531
役員退職慰労引当金		211	232	21	10.1	244
その他		57	57	△ 0	△ 0.0	57
固定負債合計		1,564	1,203	△ 361	△ 23.1	1,336
負債合計		24,158	26,185	2,026	8.4	21,874
(純資産の部)						
I 株主資本						
資本金		10,543	11,065	522	5.0	11,065
資本剰余金		10,586	11,109	522	4.9	11,109
利益剰余金		32,234	32,969	734	2.3	32,692
自己株式		△ 415	△ 450	△ 35	-	△ 446
株主資本合計		52,949	54,693	1,744	3.3	54,421
II 評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金		1,127	721	△ 406	△ 36.1	847
繰延ヘッジ損益		-	1	1	-	0
為替換算調整勘定		△ 82	△ 18	63	-	14
評価・換算差額等合計		1,045	704	△ 341	△ 32.7	862
III 少数株主持分		85	318	233	274.1	326
純資産合計		54,079	55,716	1,636	3.0	55,610
負債及び純資産合計		78,238	81,901	3,662	4.7	77,485

## 要約連結財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成19年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額	
I 売上高	34,791	35,010	219	0.6	124,555	
II 売上原価	31,779	32,202	423	1.3	115,929	
売上総利益	3,011	2,807	△ 203	△ 6.8	8,626	
III 販売費及び一般管理費	1,496	1,514	18	1.2	5,273	
営業利益	1,515	1,293	△ 222	△ 14.7	3,352	
IV 営業外収益	89	59	△ 30	△ 33.7	301	
V 営業外費用	10	21	11	110.0	52	
経常利益	1,594	1,330	△ 263	△ 16.5	3,601	
VI 特別利益	137	0	△ 136	△ 99.5	160	
VII 特別損失	14	35	20	137.8	219	
税金等調整前第1四半期 (当期) 純利益	1,716	1,295	△ 421	△ 24.5	3,542	
税金費用	721	547	△ 174	△ 24.1	1,599	
少数株主利益	4	5	0	22.2	26	
第1四半期 (当期) 純利益	991	743	△ 248	△ 25.0	1,916	

## 要約連結財務諸表

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	金額	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)	(参考) 平成19年9月期
		金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	1,716	1,295	3,542	
減価償却費	588	722	2,671	
退職給付引当金の減少額	△ 34	△ 37	△ 139	
固定資産売却益	-	△ 0	△ 1	
固定資産除売却損	2	25	70	
売上債権の増加額	△ 4,191	△ 3,009	△ 1,489	
たな卸資産の増加額	△ 3,544	△ 753	△ 1,155	
仕入債務の増加額	3,834	2,847	595	
未払費用の増減額 (減少:△)	△ 18	137	△ 83	
その他	△ 805	△ 411	△ 302	
小計	△ 2,452	816	3,708	
法人税等の支払額	△ 878	△ 632	△ 1,767	
その他	6	4	37	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 3,324	188	1,977	
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有形固定資産の取得による支出	△ 1,514	△ 1,629	△ 6,435	
有形固定資産の売却による収入	0	1	14	
その他	2	△ 72	△ 861	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 1,512	△ 1,701	△ 7,282	
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の純増加額	3,500	2,500	4,500	
配当金の支払額	△ 424	△ 467	△ 890	
少数株主への配当金の支払額	-	△ 2	△ 18	
その他	△ 7	△ 4	144	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	3,068	2,024	3,735	
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	2	△ 4	40	
<b>V 現金及び現金同等物の増減額 (減少:△)</b>	△ 1,765	507	△ 1,528	
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	2,822	1,294	2,822	
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高</b>	1,057	1,802	1,294	

## セグメント情報

### 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（自平成18年10月1日 至平成18年12月31日）

	冷蔵倉庫事業 (百万円)	食品販売事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
<b>売上高</b>						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,852	29,929	9	34,791	—	34,791
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	256	—	—	256	(256)	—
<b>計</b>	<b>5,108</b>	<b>29,929</b>	<b>9</b>	<b>35,047</b>	<b>(256)</b>	<b>34,791</b>
<b>営業費用</b>	<b>3,742</b>	<b>29,377</b>	<b>1</b>	<b>33,121</b>	<b>153</b>	<b>33,275</b>
<b>営業利益</b>	<b>1,366</b>	<b>551</b>	<b>7</b>	<b>1,925</b>	<b>(410)</b>	<b>1,515</b>

当四半期（自平成19年10月1日 至平成19年12月31日）

	冷蔵倉庫事業 (百万円)	食品販売事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
<b>売上高</b>						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,180	29,820	8	35,010	—	35,010
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	262	—	—	262	(262)	—
<b>計</b>	<b>5,443</b>	<b>29,820</b>	<b>8</b>	<b>35,273</b>	<b>(262)</b>	<b>35,010</b>
<b>営業費用</b>	<b>4,145</b>	<b>29,389</b>	<b>1</b>	<b>33,537</b>	<b>180</b>	<b>33,717</b>
<b>営業利益</b>	<b>1,297</b>	<b>431</b>	<b>7</b>	<b>1,736</b>	<b>(442)</b>	<b>1,293</b>

(参考)前期（自平成18年10月1日 至平成19年9月30日）

	冷蔵倉庫事業 (百万円)	食品販売事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
<b>売上高</b>						
(1) 外部顧客に対する売上高	18,072	106,447	36	124,555	—	124,555
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	892	—	—	892	(892)	—
<b>計</b>	<b>18,965</b>	<b>106,447</b>	<b>36</b>	<b>125,448</b>	<b>(892)</b>	<b>124,555</b>
<b>営業費用</b>	<b>15,358</b>	<b>105,298</b>	<b>7</b>	<b>120,664</b>	<b>538</b>	<b>121,203</b>
<b>営業利益</b>	<b>3,606</b>	<b>1,148</b>	<b>28</b>	<b>4,784</b>	<b>(1,431)</b>	<b>3,352</b>